

玉川上水 (2021,6,26) クモ観察

科名	和名	学名		備考
ジグモ	ジグモ	<i>Atypus karschi</i>	♀住居	
トタテグモ	キシノウエトタテグモ	<i>Latouchia typica</i>	幼体	
ヒメグモ	ニホンヒメグモ	<i>Nihonhimea japonica</i>	♀,♂,幼体	
	カグヤヒメグモ	<i>Parasteatoda culicivora</i>	♀	
	オオヒメグモ	<i>Parasteatoda tepidariorum</i>	♀	
	バラギヒメグモ	<i>Takayus chikunii</i>	♀	
コガネグモ	ギンメッキゴミグモ	<i>Cyclosa argenteoalba</i>	♀,幼体	
	ジョロウグモ	<i>Trichonephila clavata</i>	幼体	
アシナガグモ	シロカネグモ属の一種	<i>Leucauge</i> sp.	幼体	『オオシロカネグモ』か『コシロカネグモ』のどちらかになりますが、研究者間では、厳密な同定は成体の生殖器構造での判断が必要とされています。
	アシナガグモ	<i>Tetragnatha praedonia</i>	♀	
タナグモ	クサグモ	<i>Agelena silvatica</i>	幼体	

	コクサグモ	<i>Allagelena opulenta</i>	幼体	
	メガネヤチグモ	<i>Pireneitega luctuosa</i>	♀	ヤチグモの仲間も、やはり本来ならば、生殖器を確認しないと種まで同定出来ない、と研究者間では言われています。ただ、公園のコンクリートや石垣という「居場所」、脚に全く斑模様が無いという「色彩斑紋」から、おそらく『メガネ』の可能性が高いと思っています。 これがもし違う環境居場所で
カニグモ	ワカバグモ	<i>Oxytate hoshizuna</i>	♀	
ウラシマグモ	ウラシマグモ属の一種	<i>Phrurolithus</i> sp.	♀	『ウラシマグモ』か『イナズマウラシマグモ』のどちらかになります が、研究者間では、厳密な同定は成体の生殖器構造での判断が必要と言われています。
エビグモ	アサヒエビグモ	<i>Philodromus subaureolus</i>	♂	
ハエトリグモ	エクスハエトリ	<i>Laufeia aenea</i>	♀	

チャイロアサヒハエトリ	<i>Phintella abnormis</i>	♂	
ヒメカラスハエトリ	<i>Rhene albiger</i>	幼体	

● 分類は、日本産クモ類目録Ver.2021R1 (<http://www.asahi-net.or.jp/~dp7a-tnkw/japan.pdf>) に従いました。